支部紹介

第16回愛媛大学医学部同窓会東日本支部総会 報告

平成30年１月27日土曜日（毎年１月の第４土曜日開催）に私学会館アルカディア市ヶ谷にて、第16回愛媛大学医学部同窓会東日本支部総会を開催致しました。今回は第16回なので、第16期生が幹事となり、今井康博先生に司会進行を担当頂きました。

第一講演は愛媛大学臨床腫瘍学講座教授の薬師神芳洋同窓会会長より「がん治療と愛媛大学の今（昔）」。第二講演は愛媛大学眼科学教室の上甲武志准教授（16期生）により「網膜疾患の診断と治療－最新の進歩－」。第三講演は森之宮病院心臓外科の加藤雅明部長により「大動脈解離におけるパラダイムシフト」。全ての講演は心が洗われる、最先端の素晴らしい内容であり、母校の素晴らしさとノスタルジーが実感でき、参加者一同大満足でした。その後の懇親会も盛り上がりました。２次会の楽しいひと時を写真でお届けいたします。

一方、愛媛大学医学部同窓会東日本支部では、世代交代の時期となり、三代目会長にねりま健育会病院の酒向正春院長（９期生）が任命されました。今後の関東圏の世代間連携や、愛媛や全国支部との連携を強化するため、20期世代の西井鉄平先生（22期生：横浜市大附属市民医療センター呼吸器外科）が幹事長に任命され、政策担当は熊野正士参議院議員（13期生）、さらに、30期世代の伊藤淳哉先生（33期生：東京女子医科大学整形外科）と厚生労働省課長補佐の石丸文至先生（33期生）が若手統括担当に任命され、若手が集まり、良質な人脈と同窓生協力で助け合える学術・文化・芸術・スポーツ支援の集まりにしていきたいと思います。

是非、関東圏にお越しの同窓生の皆さんは、毎年１月の第４土曜日に開催される東日本支部総会にご参加下さい。

（文責 酒向正春 ９期生）

第15回愛媛大学医学部同窓会九州支部総会 報告

皆さんお元気ですか。今年も愛媛大学医学部九州支部同窓会を７月28日ホテル日航福岡にて行いました。

今回の西日本豪雨では、被害の大きかった愛媛県内の野村町や大洲などで被災された方、また被災された中国四国地方の同窓生の方に対し、心からお見舞い申し上げます。

今年の同窓会は、25名と今までで最高数でした。わざわざ沖縄から参加していただきました小槻先生（４期生）、初参加の長崎県の一期生の鍬塚先生をはじめ、１期生から36期生まで幅広く多数お集まりいただきありがとうございました。皆元気で和気藹々とした雰囲気でした。

今回の講演は、『難しい骨折の診断』と『開学初期の思いで』の演題で多治見新造先生（２期生）にお願いしました。最初はまじめに講演されていましたが、後半は学生時代のおもしろいエピソードの話で、彼の人柄のよさがうかがわれました。

その後、写真撮影、懇親会となり近況報告も交えながら無事同窓会は終了し、ホテル内で二次会を行い来年の再会を誓いました。

来年は平成31年７月27日（土）18時30分よりホテル日航福岡にて開催予定です。

九州在住や九州に赴任された先生がおられましたら一人でも多く出席していただけるようご理解ご協力お願いします。

愛大の各医局の先生で九州出身の方の参加も歓迎します。
また研修医で九州勤務の方も参加よろしくお願いします。

運営委員会の変更はなく下記の通りです。

支部長	角	典洋（２期生）
副支部長	澄井	敬成（８期生）
監事	立石	憲彦（７期生）
運営委員	中村	隆治（５期生）
運営委員	池田	文恵（19期生）

事務局
すみい婦人科クリニック　澄井　敬成（８期生）sumiic@k9.dion.ne.jp
九州支部長　角　典洋（２期生）sumi-clinic@mx2.tiki.ne.jp

支部紹介

愛媛大学医学部創設50周年に向けて
－中部・東海同窓会支部設立の呼びかけ－

愛媛大学医学部同窓の皆さん、ご無沙汰いたしております。

愛媛大学医学部も設立50周年を迎えるということですが、40周年記念式典がつい先日のように思い起されます。小生、平成10年に名古屋市立大学に赴任して、もう20年が経ちました。この度、新たに同窓会会長に就任された薬師神芳洋先生から、創設50周年に向けて中部・東海地区の同窓会支部を何としても設立していただきたいとの要望をいただきました。ご存知のように、東京(東日本)や大阪、中国、九州地区にはすでに同窓会支部が設立されています。毎年、活発な活動が同窓会誌に掲載されているのを見るにつけ気になっていました。愛知でも20年前に同窓会支部の設立を試みましたが、努力不足で頓挫した経緯があります。ただ、今でも東海地区在住の卒業生には支部設立の要望はあり、お互い小グループで交流を行っているのが現状です。同窓会名簿を見ますと、何と愛知県にはすでに100名余の、また岐阜・三重を含めた東海3県には180名、静岡、新潟、長野、富山、石川、福井を含めた中部９県には約250名もの卒業生が各地で活躍されています。小生の所属する名古屋市立大学耳鼻咽喉科にも小生を含め６名の卒業生が在籍し、学内にも一昨年の秋に病態モデル学教室教授に就任した18期生の大石久史先生はじめ22期生の三井裕人先生(整形外科)、23期生の田中達也先生(外科)らが勤務しております。

愛媛大学医学部は昭和48年に新設医大・医学部として設立されましたが、50年経った現在、新設という呼称は払拭され、医学会においても研究や教育においてもランキングの高い大学になっています。そして、今後さらに発展し、全国展開するためには同窓会の充実と結束は重要です。そのためにも中部・東海地区の同窓会支部を設立しなければと、心新たにした次第です。中部・東海地区在住の卒業生の皆さん、愛媛大学医学部創設50周年に向け、支部会を設立しようではありませんか！

名古屋市立大学耳鼻咽喉・頭頸部外科　教授
名古屋市立東部医療センター　病院長　村上信五（2期生）